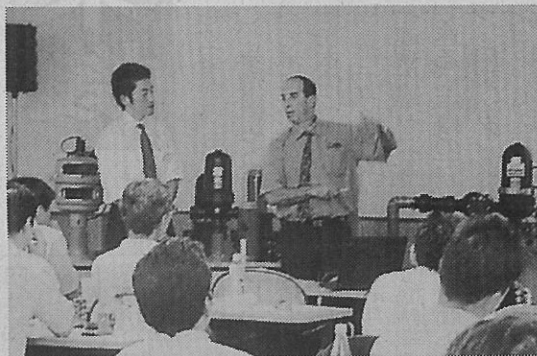


# アーカルとドサトロン

## サンホープ技術セミナーを開催



アーカル社クラス氏の説明



益満社長

サンホープ(東京都目黒区中目黒1-1-71)は、創業以来かん水機器システムの専門商社として「水は作物に必要な量

「アーカル・ドサトロン技術セミナー」をこのほど開催した。コスト削減や環境保全対応の栽培法がより高いレベルで求められる施設農業において、かん水や施肥、防除と多目的に利用されるドリップやスプリンクラーの「命」ともいえるフィルターのセミナーを参加者は熱心に学んだ。

だけ適期に」をテーマに事業を拡大してきた。そのためにシステムは常に確実に通じることが必要と、研修会に力を入れた

世界2大ブランド「アーカル」と「ドサトロン」の営業技術、サービス研修が内容であった。

【アーカル】イスラエルのフィルターメーカーでサンホープとは30年に及ぶ取引が続いている。スクリーン、サンド、ディスクの3種のフィルターラインナップで「自動逆洗スピンクリンディスクフィルター(スピンクリン)」が現在の主力商品。

【ドサトロン】フランスの薬液自動混入器メーカー。サンホープがいち早く日本に商品を紹介した。ドサトロン社のティエリ氏が機器の作動原理や商品群、システム構成などを説明した。

営業を展開し、国内のユーザーはもとより、海外メーカーからも企業姿勢が高く評価されてきた。今回のフィルターセミナーもその一環で、同社が扱う

の「命」ともいえるフィルターのセミナーを参加者は熱心に学んだ。

が溜まりやすく、洗浄が大変になるが、この洗浄をフィルター出入口の水圧差を利用して自動的にこなすのがこの「スピンクリン」。アーカル社クラス氏が、フィルターの特徴やシステムの仕組みを説明した。

を中核とした栽培システムの代表例として①長野県の簡易養液土耕栽培②四国の極早生・中晩成みかんなどのマルチドリップ方式③茶園の点滴施肥栽培による環境負荷低減栽培法などを説明。続いてドサトロンシステムの省力利用法を紹介した。

田取締役が、ドサトロン